

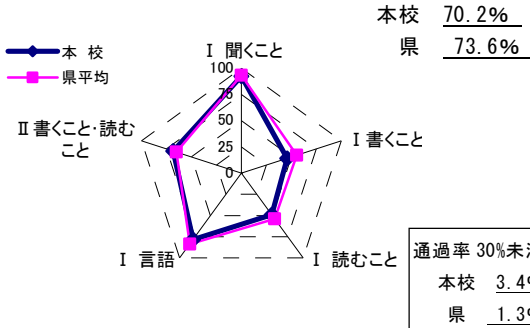
# 指導方法等の改善計画

広島市立己斐上中学校

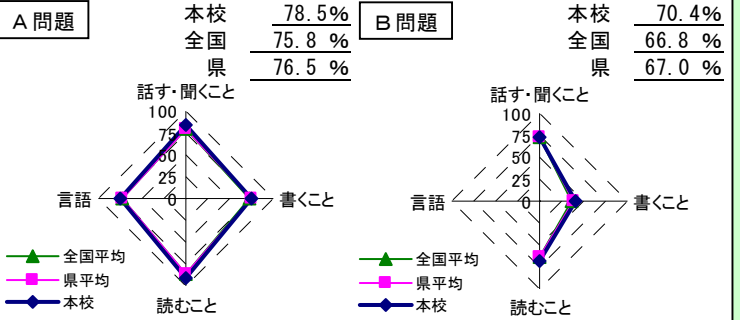
[◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査]

## <国語>

### 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



### 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



### 重点課題

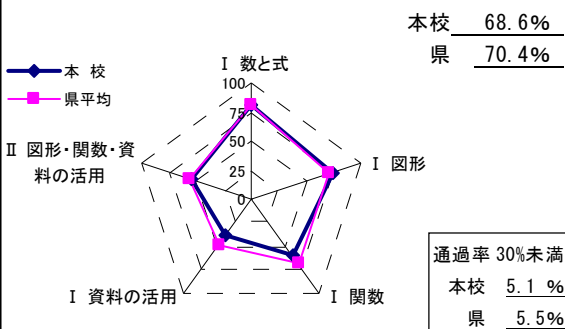
◎領域「書くこと」については「叙述の仕方の確認」では、県の半数以下の通過率となっている。また、「主語・述語の関係」の通過率が昨年度と同様低かった。(通過率40%)  
 ◇「文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く。」(B6二)ができていない。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法

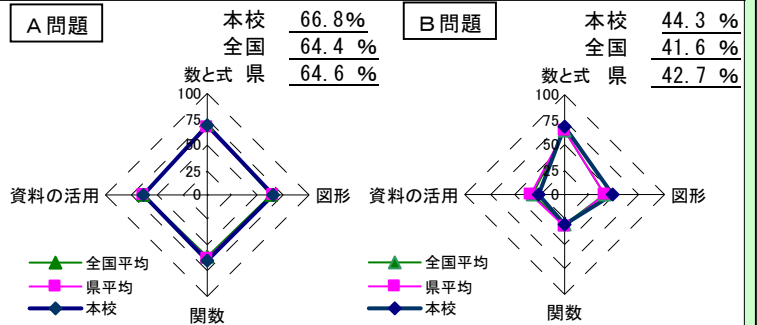
◎主語と述語の関係が整った文とはどのような文かということを理解させる。そのために、まず、四つの基本文型を確認し、その後、主語と述語の整った文を作る練習をする。また「批評文を書く」学習では、論理の展開を工夫したり、資料を参考引用したりして、事実や意見が相手に効果的に伝わるように工夫して書かせる。書いた文章の主述の一致について見直し推敲させる。  
 ◇説明文・意見文において、事実と意見の区別ができるよう指導する。それを踏まえて、自分の意見とその根拠・理由に基づいた考えを書けるような結論先行型の記述ができるよう指導する。

## <数学>

### 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



### 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



### 重点課題

◎領域「関数」では、「比例のグラフの理解」の通過率23.7%、領域「資料の活用」では、「中央値の意味」の通過率23.7%と低かった。

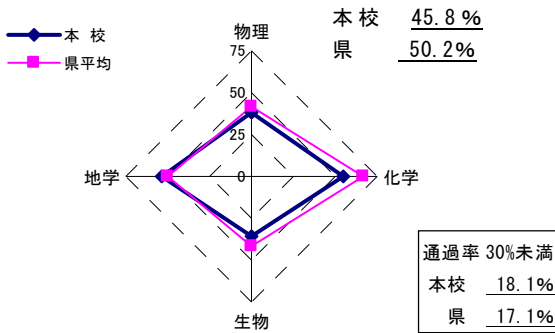
◇「数量の関係を文字式に表す」、「与えられた資料から中央値を求める」の通過率が低く、無回答率が高かった。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法

◎比例のグラフが「直線である」ことは分かっているが、「原点を通る」という大切な要素が抜ける生徒が多かった。これは、用語を用いて説明する機会が少なく、用語や特徴の理解が不十分であることが考えられる。今後は、数学の用語の意味をおさえ、用語を用いた説明が言える、書けるように継続して練習させる。  
 ◇中央値の定着ができていないことが分かった。定期的にプリント等で復習する必要があると考える。また、課題に取り組む際には、何を問われているのか十分に読み取る練習をさせていく。

## <理科>

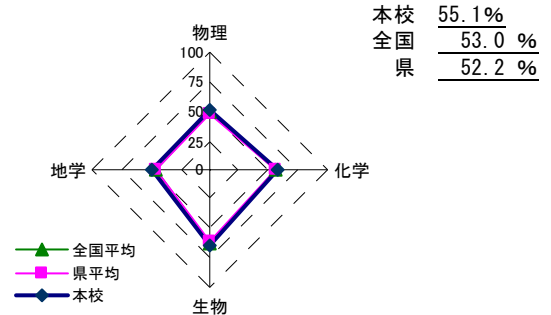
### 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



### 重点課題

◎領域「生物」については、県の平均以下の通過率となっている。「化学」の通過率が昨年度と同様低かったことと「物理」の通過率が本年度は低かった。  
 ◇文章問題からの計算を苦手としている生徒が多く、簡単な計算でも式を作ることが苦手である。また記述式の問題が、正しく書けないことも多くある。

### 全国学力・学習状況調査 本年度正答率

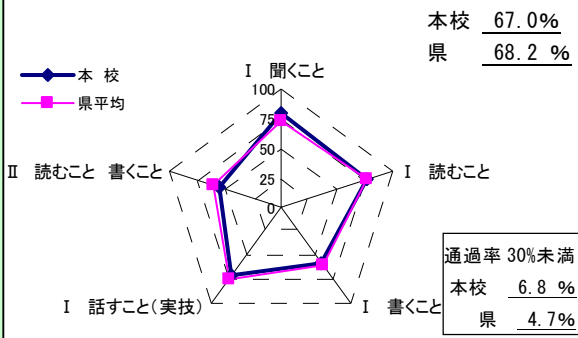


### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法

◎領域「生物」の問題から検討したところ、基本的な知識が定着していない。これは「地学」の平均通過率が良いことからもうかがえる。そのため、定期的に、既習事項の復習を取り入れていくようにし、知識の定着を図るようにしていく。  
 ◇文章から式を作り計算する問題や、記述式の理由を書く問題を解けるようにするためには、国語、数学との連携を取り入れていくようにしていく。

## <英語>

### 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



### 重点課題

◎「話すこと（実技）」「読むこと書くこと」の領域において、まとまりのある英文について読み取ったり、つながりのある英文を書いたりする問題の通過率が低い傾向が見られた。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法

◎まとまりのある英文を読む際、まず大意把握を優先し、ポイントとなる英文を探させるなど、一文一文の意味(和訳)にとらわれすぎないように発問を工夫する。また、「話す・書く」で新出事項を用いた自己表現をさせる場合、一文で終わらず、理由などの情報を付け加え2,3文で述べるよう指導する。